

都民等との協働による動物との共生推進拠点の整備検討会報告書 概要

都民等との協働による動物との共生推進拠点の整備検討会

● 目的

動物愛護相談センターを、都民や関係者との協力等を視野に入れた利便性や業務の効率性についても十分に考慮した、都民に開かれ、より親しみやすい施設として機能強化するため、その施設像及び機能を具体的に検討

- 設置 令和4年8月
- 開催数 3回
- 委員 学識経験者等

検討項目及び主な意見

動物福祉に配慮した飼養管理

- ◆ 動物の健康を維持する飼養環境を確保
- ◆ 動物の運動設備（ドッグラン等）を設置
- ◆ 動物本来の行動を発揮できる環境を提供
- ◆ 適正な動物福祉を啓発

関係者等との協働促進

～動物愛護に関心がある層に向けた取組～

- ◆ 動物愛護推進員と連携した講習会や動物教室の実施
- ◆ ボランティア団体との合同譲渡会を開催
- ◆ 動物の飼養が困難となるケースでは、地域の対応力向上に向けて社会福祉関係者と協働
- ◆ 動物の診療の支援等について獣医系大学との連携を推進

都民に身近な施設になるための取組

～動物愛護に関心が薄い層も含めた取組～

- ◆ 学校へのお出張授業や校外学習等の実施
- ◆ 飼い主の困り事を解決するヒントや専門家に関する情報を提供
- ◆ 災害時の動物の同行避難に関する公開講座等を実施
- ◆ 広告や動画配信等を活用し、効果的に情報発信

新施設の整備と運営手法

- ◆ 敷地選定・施設コンセプト作成にまちづくりの視点を取り入れ
- ◆ 都市部の実情に応じた施設の機能分散等も検討
- ◆ 多目的ホールをイベントや災害発生時等の動物一時保管施設に活用

その他

- ◆ 動物愛護に関する幅広い相談等を受け止める機関として、都民・関係者から信頼される存在へ
- ◆ 施設のイメージを「動物を助け、動物が楽しく暮らすための施設」に転換

動物との共生推進拠点の基本計画を策定するに当たっては、検討会の意見も活用